

6月末組織人数 5,171人

これから暑い季節ですので、
熱中症に気を付けながら仕事・
声かけをしていきましょう。

建 労 い わ て 月 刊 号

発行所
岩手県建設労働組合連合会
教 宣 部
盛岡市本宮一丁目7番27号
電話 019-631-3280
FAX 019-635-4015
発行者 藤井泰男

読者に伝わる写真を

北東ミニ教宣平泉で

6月28日から29日にかけて平泉町の「ホテル武蔵坊」において、全建総連（全国建設労働組合総連合）北海道・東北地方協議会ミニ教宣学校（北東地協ミニ教宣）が開催されました。北海道・東北の6道県連・組合から22名、講師1名、岩手県連から（役員含む）16名、合計39名の参加でした。

このミニ教宣は毎年、県連・組合の機関紙づくりをしている教宣部の担当者を対象に、北海道・東北地方で持回りで開催しています。

今回は岩手が開催県。岩手県連の教宣部で協議した結果、2011年に世界遺産に登録された平泉の中尊寺を取材先とする事に決定しました。

今回は北東地協の教宣担当幹事の高橋清一郎岩手県連会長から「本日も参加のみなさまは、県連・単組で教宣活動に関わっていると思います。教宣活動は一見地味な活動と思われがちですが、とても重要なポストです。自分も楽しみながら、読む仲間にも好感を持って頂ける様な紙面を作る為に、情報交換を交えながら横のつながりを作ってほしい」とあいさつがありました。

続いて地元平泉建築組合の菅原東一組合長から「みなさん平泉にお越し頂きありがとうございますとございます。今日は中尊寺に行かれるという事で、見応えのある所がありますので沢山取材をして

て少しでも長く組合の為の教宣に尽くして行って頂きたいです」と開校あいさつが行われました。

次に北東地協の教宣担当幹事の高橋清一郎岩手県連会長から「本日も参加のみなさまは、県連・単組で教宣活動に関わっていると思います。教宣活動は一見地味な活動と思われがちですが、とても重要なポストです。自分も楽しみながら、読む仲間にも好感を持って頂ける様な紙面を作る為に、情報交換を交えながら横のつながりを作ってほしい」とあいさつがありました。

その後、夕食懇親会となり参加者は他県連・組合の方々と情報交換をしながら楽しく交流している様でした。

◆ホタルの代表的な種には「ゲンジボタル」「ヘイケボタル」がいる。ヘイケボタルは江戸時代までは「コメボタル」と呼ばれていた。しかしもうひとつの代表的な種である「ゲンジボタル」と対比する為、分かりやすく源平の合戦から取って「ヘイケボタル」と名付けられた。



中尊寺観光ガイドの菊地クラ子さんの説明を聞きメモを取るミニ教宣参加者



カメラの使い方を分かりやすく説明する講師の全建総連教宣部 谷岡直樹氏



り、撮影した写真を確認する事です」とお話しがありました。講演後はバスで中尊寺に取材に行き、ガイドの菊地クラ子さんから説明を受けると参加者はメモを取りながら、それぞれ写真撮影をしていました。その中でも金色堂を拝観した時は、参加者から「とても美しい。国宝と言われるだけはある」などの感想がありました。

◆昨今では、限られたキレイな水とエサとなる巻貝の「カワニナ」がいる小川や田んぼの周りに住み、夕方日暮れと共に数時間の間に目にする事が出来る。私たちが子供の頃は、場所を選ばずどこにでもいたものだった。

取材後は参加者が撮影した写真を1枚選び、写真に対する記事を書く作品作成の時間となりました。みなさん教宣活動者という事もあり、約1時間で完成させる方もいました。

◆現在は「近場で観賞が出来る環境にしたい」という思いがあり、ホタルのエサとなる「カワニナ」と「タニシ」などを育て、住める環境を作っている。

【教宣部 千葉節夫】

【県連 鈴木(章)記】